

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 概要報告

令和4年度は、断続的に繰り返す新型コロナウイルスの感染拡大や、ウクライナ情勢等を背景とした物価高騰や円安など、目まぐるしく変化する社会経済情勢により私たちの日々の生活は大きな影響を受けた年となりました。

当センター事業においても、その影響は顕著で、これまで順調に伸びてきた派遣事業において、企業の業績悪化を理由に会員が「雇い止め」となるなど、そのしわ寄せが真っ先にセンター事業に及ぶ試練の一年となりました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症対策は、ワクチン接種、検査、治療薬等の普及が進み、また治療の効果も見える中、国が示す対処方針も緩和され、三年ぶりに多くの会員の方に集まっていたいただき、総会と地域懇談会を開催することができました。徐々にではありますが、平時の生活に戻りつつあることを実感した一年でもありました。

令和4年度の事業実績は、請負事業では契約金額 188,175 千円(対前年比 0.6%減)で、派遣事業は契約金額 43,674 千円(対前年比 9.0%減)、有料職業紹介事業 1,609 千円(対前年比 22.5%減)となりました。会員の就業延人日数は 44,575 人日(対前年比 5.0%増)、配分金・賃金は、192,197 千円(対前年比 1.0%増)となりました。

会員数については、前年度末 439 人に対し、本年度末は 435 人で 4 人減少しました。いろいろな媒体を通じ、シルバー事業を周知するとともに魅力あるセンターづくりに取り組み、会員増につなげなければなりません。

安全就業では「安全は全てに優先する」との基本姿勢のもと、会員へ継続的な安全就業の声かけやパトロールの取り組みを行いました。本年度の事故発生数はゼロとなり、一年以上無事故記録が続いています。今後も引き続き、会員の安全意識の高揚と安全対策に努め、“事故ゼロ”へ向けた取り組みが求められます。

適正就業については、法例遵守に努めるとともに、国の示した適正就業ガイドラインに沿って適正な就業形態の徹底に努めました。

以下、事業実施状況について報告いたします。

2 事業実施状況

(1) 会員の拡大

センター発展の基礎となる会員の拡大を重点課題ととらえ、新規入会者を増やすため、次の取り組みを行いました。

- ① センター会報「匠」、ホームページによるシルバー事業の市民周知
- ② 入会説明会（18回開催）
- ③ ハローワーク八鹿との連携による入会相談会開催（12回開催）
- ④ シニア就職面接相談会参加（ハローワーク主催）
- ⑤ 会員友の会事業の充実
- ⑥ 高齢者を対象にした「ときめくお洒落」講習会開催によるシルバー事業周知

【会員数】

（各年度3月31日現在）

年度	養父市総人口	60歳以上人口	会 員 数		
			会員数	男性	女性
R 3	22,177名	10,325名	439名	235名	204名
R 4	21,756名	10,228名	435名	234名	201名
昨年対比	△421名	△97名	△4名	△1名	△3名

（2）就業機会の確保・拡大

センターを更に発展させるためには、会員の拡大とともに会員の就業機会を確保・拡大することが重要であり、公共機関等に継続的な仕事の発注をお願いするなど就業開拓を行いました。

【職群部会の事業実績】

（単位：千円）

年度	植木剪定	運転	草刈	襖・障子	福祉
R 3	9,340	27,855	15,869	613	8,250
R 4	9,330	27,122	16,493	1,591	7,692
昨年対比	99.9%	97.4%	103.9%	259.5%	93.2%

就業機会確保・拡大のために次の活動を行いました。

- ① センター会報「匠」によりシルバー事業を紹介（8月・1月 年2回発行）
- ② 一般就業先・派遣事業先へPR用リーフレットを配布
- ③ 市長・議長へ就業機会確保・拡大の要望書を提出
- ④ 企業向けシルバー活用セミナーの開催
- ⑤ センターの情報をホームページ、フェイスブックで紹介
- ⑥ 市内4地域において次のとおりボランティア活動を実施

月 日	内 容	参加者数
7月2日	八鹿地域：養父市役所周辺清掃作業	24名
7月2日	養父地域：養父地域局周辺清掃作業	27名

7月9日	大屋地域：大屋地域局周辺清掃作業	19名
7月9日	関宮地域：関宮地域局周辺清掃作業	21名

(3) 女性会員の増強と就業機会の拡大事業

① 笑い与健康お届け隊

養父市と連携してフレイル予防（虚弱の先送り）を目的に、会員が「笑い与健康お届け隊」の隊員となり、各地域に出向き高齢者を対象にフレイル予防教室を行っています。会員となって活動を希望する女性会員が増えています。

隊員数 48名 会員就業延人日数 935人日

② 女性会員にふさわしい地域に密着した就業

家事援助、子育て支援など福祉分野で会員が活躍しています。

- ・家事支援等訪問サービス 利用者5件、会員就業延人日数47人日
- ・学童保育 7施設、会員就業延人日数270人日
- ・保育補助 5施設、会員就業延人日数1,847人日
- ・子育て支援ヘルパー 利用者1件、会員就業延人日数4人日

③ あゆ公園内のレストランを運営

あゆ公園内のレストランを、観光客が多く訪れる7～9月の期間に営業、また閑散期には注文に応じて弁当、巻きずし、漬物などを作って販売し、女性会員の就業機会を拡大しました。

会員就業実人員11人、就業延人日数314人日

④ 手芸品の作成など魅力ある活動

女性会員が「手芸の会」のグループ活動により、手芸品等を作成して販売しました。

⑤ 学校・地域との連携と交流

笑い与健康お届け隊が、フレイル予防を市内の学校や地域で、体験を通じて教示しました。

- ・公立八鹿病院看護専門学校（老年看護援助論授業1回4名参加）
- ・第一学院高等学校養父校（対面授業36回179名参加）
- ・出前教室（上野区1回4名参加）

(4) 特徴ある就業機会創出事業

農業分野、福祉分野で、地域の課題解決を会員の新たな就業に結び付けるとともに、地域の活性化に資する事業を行いました。

<楽農応援事業>

人口減少、高齢化など様々な要因で農地の維持ができなくなり、耕作放棄地が増える中で、センター自ら荒廃の進む中山間地の農地を借り受け、お米など

農産物を有機により栽培して、養父市ブランドとして都市部の住民や飲食店、給食センター等へ販売しました。また、会員が栽培する農産物をセンターが集荷して都市部で販売し、高齢になっても楽しく農業ができるよう応援しました。主な実績は次のとおりです。

区 分	販 売 先
シルバー関係	明石市 SC、宝塚市 SC、芦屋市 SC、西宮市 SC、門真市 SC 姫路市 SC
イベント関連	神戸市、芦屋市、明石市、朝来市
民間関係	民間企業 3 社

<地産地消“やぶもん”推進事業>

養父市産の安心・安全・美味しいにこだわった農産物や特産品を市内で消費するよう取り組みました。市内の旅館などへの農産物販売、食堂の食材利用、シルバー豊年まつりなどイベントやあゆ公園内での直接販売、収穫体験による養父市産農産物 PR、レトルト食品やお弁当など市内産農産物を加工して販売するといった 6 次化などにも取り組み、地産地消を推進しました。

<フレイル予防事業>

健康で安心して暮らせるまちをめざし、養父市と連携してフレイル予防（虚弱の先送り）事業「毎日元気にクラス」に取り組んでいます。会員が“笑い与健康お届け隊”となり、養父市内に出向き、各地区週 1 回 1 時間程度の教室で、健康につながる「運動」「栄養」「社会」プログラムを伝えています。参加者や会員がともに元気で明るく楽しい毎日を送れるようにと事業を行いました。令和 4 年度は、毎日元気にクラス教室を 10 地域で実施するよう予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 7 地域の実績に留まりました。

笑い与健康お届け隊の活動実績は次のとおりです。

【毎日元気にクラス教室】

年度	実施地区	延参加者数	延会員数
R 3	大杉・由良・八木谷・門野・高柳自治協議会	1,211 名	309 名
R 4	相地・加保・新町・浅野自治協・新津・上藪崎・伊豆 (R3 年度～継続地区：高柳自治協)	2,507 名	592 名
	第一学院高等学校養父校・公立八鹿病院看護専門学校・地域づくりイベント		

【継続地区フォローアップ】

年度	実施地区	延参加者数	延会員数
R 3	天子・諏訪町・大森・駅前・青山・寄宮・宿南自治協議会・椿色・下八木・米里・森・左近山・高中・奥米地・大藪・堀畑・筏・栗ノ下・大屋市場 宮垣・轟・大谷	192名	43名
R 4	鉄屋米地・京口・上網場・九鹿・中瀬・三宅・中八木・栄町・養父市場・宮本・中央・下町・高柳自治協・旭町・藪崎・馬瀬・関宮・吉井・朝倉・葛畑・稲津・船谷・宮町・宮垣・浅野自治協・蔵垣・上藪崎・新町・石原・小山・万久里・明延・建屋・八木谷・大塚・門野・相地・大杉・加保・長野 計40カ所	374名	78名

【継続地区体力測定】

年度	開催地区	延参加者数	延会員数
R 3	天子・京口・下町・諏訪町・上網場・寄宮・石原・椿色・馬瀬・中八木・下八木・長野・中央・建屋・船谷・稲津・高中・奥米地・中米地・大塚・養父市場・藪崎・宮本・大屋市場・宮垣・葛畑・中瀬・関宮・三宅	259名	62名
R 4	米里・大森・駅前・森・蔵垣・栗ノ下・九鹿・朝倉・大谷・筏・宮町・明延・栄町・吉井・左近山・堀畑・大藪・八木谷・小山・大杉・門野・能座・建屋・由良・宮本・天子・長野・中瀬・上網場・石原・大屋市場・稲津・京口・葛畑・中央・船谷・奥米地・下町・伊佐自治協・中米地・三宅・高中・下八木・椿色・関宮・馬瀬・養父市場・藪崎・寄宮・宮垣中八木・大塚・鉄口米地・宿南自治協・諏訪町 計55カ所	491名	114名

【研修会等】

内 容	回数	延参加会員数
笑い与健康お届け隊 第9期生養成研修	5回	26名
寸劇研修	1回	9名

スキルアップ研修	3回	95名
----------	----	-----

(5) 独自事業（手芸品）

月に2回、女性会員相互の交流を深めながら、独自事業として手芸品づくり活動をしています。手芸品のリフォームも含め、作った手芸品を販売しました。会員の丁寧な作品が好評を得ています。

(6) 有料職業紹介事業

高齢者の雇用機会の拡大を図るため、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事務所として、高年齢者に職業を紹介しました。令和4年度は74人に職業紹介しました。

(7) 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

高齢者の多様な働き方を確保するため、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が実施する労働者派遣事業の実施事務所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する会員と雇用契約を締結し、会員を事業所等へ派遣します。実施に当たっては、協会と緊密な連携を図りながら事業を実施しました。契約金額は43,674千円で、対前年比9.0%減となり、派遣事業が社会情勢の変化により影響を受けました。

3 安全・適正就業の推進

安全はすべてに優先することを最優先として安全就業に取り組み、令和4年度就業中の事故は発生しませんでした。

適正就業については、国が作成した適正就業ガイドラインに沿った適正な就業形態となるよう努めました。

① 安全技能講習

月 日	講 習 会 等 名	参加者数
6月2日	安全・適正就業推進委員研修会	2名
6月16日	草刈部会（草刈機取扱い講習）	15名
7月8日	安全運転管理者講習会	1名
10月3日	運転部会（安全運転講習）	17名

② 安全委員会、安全推進会議の開催

安全委員会2回、安全推進会議12回開催

③ 安全パトロールの実施

安全委員、安全就業推進員、職員等による現地パトロールを随時実施

④ 兵庫県警本部主催「無事故無違反運動 チャレンジ100」

8チーム（80名）参加

⑤ 安全就業の啓発

啓発チラシ 毎月配布

⑥ 就業の交代制、ローテーションによるワークシェアリングの推進

⑦ シルバー会員に相応しい就業の取り組み

4 要望活動等

次のとおり、要望活動を行いました。

① インボイス制度導入に係るシルバー人材センターへの仕入税額控除の継続適用要望

要望日	要 望 先	場 所
6月 2日	福田達夫 自民党総務会長	東京都（自民党本部）
7月 15日	赤池誠章 内閣府副大臣	養父市役所
10月 8日	塩崎恭久 元内閣官房長官	養父市役所
11月 1日	斎藤元彦 兵庫県知事	養父市役所
12月 23日	菅 義偉 前総理大臣	東京都（衆議院第二議員会館）
12月 23日	宮沢洋一 自民党税制調査 会長他役員4名	東京都（衆議院第二議員会館）

② 補助金確保、市からの事業発注の確保・拡大、インボイス制度導入に係る特例措置の国への働きかけ要望

要望日	要 望 先	場 所
8月 9日	広瀬 栄 養父市長	養父市役所
8月 9日	西田雄一 養父市議会議長	養父市役所

③ 国会及び関係行政庁へ意見書提出要望（インボイス制度導入に係る意見書）

要望日	要 望 先	場 所
12月 26日	養父市議会	養父市役所

5 交流・視察等

次のとおり、各センター等と交流・視察等活動を行いました。

実施日	交流・視察センター	主 な 内 容
7月 30日	明石市シルバー人材センター	川遊び、魚つかみ、BBQ
9月 3日	兵庫県内シルバー人材センター	シルバーフェスティバル参加
10月 29日	芦屋市シルバー人材センター	芦屋SCフェスティバル参加
10月 29日	朝来市シルバー人材センター	シルバーフェア参加
11月 19日	明石市シルバー人材センター	農産物収穫体験
11月 26日	明石市シルバー人材センター	豊年まつり出店（明石焼き）
11月 27日	門真市シルバー人材センター	意見交換、農産物収穫体験

11月29日	京丹後市シルバー人材センター	視察受入（女性活躍）
3月29日	明石市シルバー人材センター	明石 SC「女性の集い」参加

6 大学等の研修・研究への協力

次のとおり、大学等の研修や研究に協力しました。

- ① 兵庫県立大学看護学部（フレイル予防事業の実習）
- ② 関西学院大学理工学部（蛇紋岩土壌での植物栽培の研究）
- ③ 京都大学大学院医学研究科（フレイル予防、社会的処方）

7 友の会事業

次のとおり、会員の福利厚生に伴う事業を行いました。

- ① 友の会運営委員会の開催（2回開催）
- ② 日帰り親睦研修旅行
10月10日(月/祝)に109名の参加で、京都・嵯峨野方面へ旅行
- ③ グラウンドゴルフ同好会活動
- ④ 手芸同好会活動
- ⑤ 女性の会活動
7月13日 お楽しみ会、12月5日 寄せ植え教室
- ⑥ 慶弔見舞関係 4件

8 法人としての一般事業

総会、理事会等の開催

- ① 定時総会
5月25日 やぶ市民交流広場「YBホール」で開催
- ② 理事会（5回開催）
5月2日、6月8日、9月15日、12月21日、3月22日
- ③ 監事監査（年2回）
4月26日、11月4日（中間監査）